

## 科学者委員会学協会連携分科会（第25期・第4回）

2 日 時 令和3年9月8日（水）17:00～19:30

3 場 所 オンライン

4 議 題

### （1） 前回議事要旨の確認

米田委員長より、資料2にもとづき、前回議事要旨案が説明され、承認された。

### （2） 講演 日本医学会連合 門田守人会長

「学術団体の社会的責務を考える」と題する講演が行われた。日本医学会連合が設立された経緯について、日本医師会や日本医学会との関係を含め説明があった。学術会議会員任命問題が生じた際に、学術に関わる問題として医療系の4学協会連合体に呼びかけ共同声明を発したこと、科学の発展に伴って専門化・細分化した学術が統合することの重要性、社会に対して科学者・学協会が果たすべき役割などについて、門田会長の考えが紹介された。

### （3） 講演 日本教育学会 広田照幸前会長

「学術の知と大学・学会・日本学術会議」と題する講演が行われた。日本学術会議会員任命問題が生じた際に、人文社会科学系学協会連合連絡会の設立において中心的な役割を担い、共同声明や英語版共同声明を発した経緯と今後の活動方針、日本学術会議との連携について説明があった。「学術のための学術」と「社会のための学術」の視点から学術のあり方と社会への貢献について、広田前会長の考えが紹介された。

### （4） 意見交換

学協会間の意見の相違や学協会内での会員間の意見の相違がある中での連合体としての活動の進め方や連携することの必要性、学協会連合体を維持・発展させる仕組み、日本学術会議との連携の進め方、などについて講師と分科会委員とで意見交換が行われた。

### （5） 日本学術会議と国内の学協会連合等との連携に関する調査について

米田委員長から、資料3\_0～3\_3に基づき、機能別委員会や分野別委員会、学協会連合体に対して、日本学術会議と学協会と学協会連合体との連携の実態に関するアンケート調査の実施案について説明があった。必要があればアンケート項目や実施方法についてメールでの意見聴取の上、最終的な項目等の決定は委員長に一任された。調査については幹事会懇談会に諮った上で実施する。

### （6） 学会名鑑について

日本学術会議とJSTと日本学術協力財団で、協力学術研究団体を掲載した学会名鑑を作成している。平成20年度まで冊子体を発行しており、それ以降はJSTによるweb上での公開となっていたが、JSTからの予算上の問題から継続が困難との申し出について事務局より説明があった。学協会との連携強化は、25期の重点課題であ

り、その基本データとなる学会名鑑の継続と内容の充実が必要であることについて合意した。今後の進め方については、米田委員長と事務局とで協議することとした。